

平成20年度 指定管理事業報告

北海道立十勝圏地域食品加工技術センターの設置目的「地域における食品加工技術の高度化を促進し、北海道の食品工業の発展に寄与する」を達成するため、施設等の適切な保守管理を行い、利用者へのサービス向上をはかるとともに、利用の促進をは行う。

1. 利用提供業務

概要	利用実績	内容
試験機器等を一般に広く開放し、利用指導等を行う。	機器等利用 278件 971時間	利用者に対し、適切な利用指導を行うと共に、加工・分析等の技術支援や情報提供を行う。
	研修室利用 26件 101時間	
	計 304件 1,072時間	
主な利用機器	真空凍結乾燥機、レトル殺菌装置、原子吸光分光光度計、高速液体加マトグラフ、ガスクロマトグラフ、マッル炉、サンプルミルなど	

2. 利用促進業務

概要	内容
試験機器等の利用を促進するための情報提供等を行う。	<p>施設利用促進のため、ホームページやパンフレット等により各種情報の提供を行うと共に、企業や関係機関との連携・協力により、効率的・効果的な利用促進を行う。</p> <p>・視察見学による来館者 619人 (主な視察者) 自民党農政推進委員会、農林水産省 北海道議会経済委員会、釧路市議会、山形県庁 教育機関(帯広畜産大学、大谷短大) 帯広市(市民見学)など</p>

3. 施設等管理業務

概要	内容
利用者が快適に施設を利用できるよう、施設の適切な保守管理を行う。	<p>施設等の保守点検・法定点検・修繕を行い、常に機能を発揮できるよう適正な管理を行う。</p> <p>施設の衛生と美観を保つため、衛生管理を行う。</p> <p>施設内外を定期的に巡視し、利用状況の把握、異常の有無を確認を行う。</p>